

# 週刊市議会報告

2006年10月2日 No971

<発行>

日本共産党浦安市議団

市役所内控入室

(議会棟1階) (350)1243

日本共産党



住みよいを合せて  
浦安市へ



市議会議員  
元木美奈子

(355)8526

入船4 37 14

minamotonton

@jcom.home.ne.jp



市議会議員  
森野 卓郎

(350)4513

堀江4 8 1 230

morino@lake.dti.ne.jp



市議会議員  
井原めぐみ

(353)4730

東野2 - 8 - 13

i\_megumi

@d8.dion.ne.jp

## 第2東京湾岸道路

## 湾岸部の交通量、5年間で3万5千台減少

1日の交通量

市内に建設用地が確保されている第2東京湾岸道路。しかし、その必要性の根拠がくずれています。千葉・東京間の臨海部交通量が国交省の調査で減少していることが明らかになってきているからです。日本共産党は、これまで繰り返し、第2東京湾岸道路の建設見直しを求めてきました。

### 平成11年6月議会 「必要不可欠な道路」

日本共産党は、平成11年6月議会で松崎市長の三番瀬に対する政治姿勢を質し、第2湾岸道路について建設中止も含めた抜本的見直しのために努力するよう求めました。ところが、市長は、第2湾岸道路は「広域的な発展に寄与する道路であり、湾岸道路の慢性的な渋滞や舞浜地区の開発に伴う車両の増大に必要不可欠な道路」と答弁し、道路建設推進の立場を表明しました。

### ラムサール条約登録よりも道路建設を優先

平成16年12月議会で、ラムサール条約登録に向けた積極的なアクションを要求しましたが、「漁業関係者の理解、第2湾岸道路の今後の行く末などクリアしなければならぬ問題がある」と答え、条約登録に消極的でした。

### 平成18年7月

### 市長 早期事業化を要求

また、道路建設に係る6市（市原市、千葉市、習志野市、浦安市、船橋市、市川市）の市長で構成され

る「第2東京湾岸道路建設促進協議会」の一員として「早期事業化に関する要望書」を今年7月、国に提出しました。これまで一貫して第2湾岸道路の建設推進の立場です。

### 9月議会

### 「渋滞緩和に必要不可欠」

9月議会では「国交省が発表の交通量調査によって東京・千葉間の6路線で、5年間に36000台（一日当たり）減少している」と指摘し、道路建設に固執し続けることは考え直すよう要求。

醍醐唯史都市整備部長は「慢性的交通渋滞の緩和や、湾岸地域のさらなる発展に必要不可欠な広域幹線道路である」と相変わらずの答弁を繰り返しました。



小松あつし県議とともに国交省に中止を要請する日本共産党市議団（8月25日）

## 入札執行前の書類の持ち出し問題

### 日本共産党、百条委設置を提案

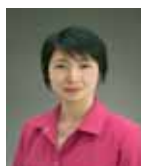
求める要望が出され、それを受けて同社を指名から排除するための確認であったと説明しました。ところが、入札の結果は疑念がわく不自然なものです。

施設利用振興公社の常務理事からの内部告発によって表面化した問題ですが、市議会として真相解明のための徹底調査が求められています。

日本共産党は、関係者に記録提出や証人として出頭を求め、厳格に調査するために100条委設置を提案しましたが、採決の結果は表の通りです。

6対13で否決

賛成者	反対者	
<日本共産党>	<無党派>	<公明党>
井原めぐみ	杉浦 哲	高津 和夫
元木美奈子	山崎 次雄	金子 喜一
森野 卓郎	田所 由香	秋葉 要
<無党派>	石井 清	<政新クラブ>
空岡 信耶	<清和会>	平野 芳子
丹下 剛	醍醐 誠一	内田 悦嗣
広瀬 明子	辻田 明	岡本 善徳
6名	深作 勇	13名



日本共産党の新人  
みせ 麻里

公共事業をめぐる汚職・談合は後を絶ちません。談合は入札の情報を事前を知ることは起こり得ない問題です。入札関係書類を何の目的で持ち出したのか、不正行為はなかったのか、市議会に徹底調査すべきではないでしょうか。